

指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者名	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
開催日	令和3年（2021年）12月1日（水）
開催場所	総合保健福祉センター 2階大会議室
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 安田 知美氏 箕面認知症家族会「びわの会」理事 鶴岡 裕見子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏

【概要】別添のとおり

内容

令和3年12月1日（水）に総合保健福祉センター2階大会議室にて、指定管理者評価に係る合議を実施しました。主な内容は次のとおりです。

1) 各サービスの利用状況などについて

指定管理者から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアや福祉体験の受け入れ、行事は中止となったが、利用者のかたが、各フロアにて季節感を味わえるよう飾り付けなどを工夫したとの報告がありました。

そのほか、利用者向けアンケートについて、入所者の回答率及びサービスの満足度についての報告があり、おおむね80%以上のかたに満足をいただけている状況であること、新たなアンケート項目として、個人情報の取扱い、情報発信のための老健ブログ、コロナ対応についての項目を追加したこと、回答の中に、zoomでの面会希望があり、今後の状況をみながら検討するとの報告がありました。

また、昨年度に意見のあった言語聴覚士の配置については、採用することができ、必要な訓練を実施できていること、また今年度、アンケートで意見のあったウォシュレットについては、未設置の箇所について順次設置を検討していることの報告がありました。

合議メンバーからは、利用者の感染予防策についての質問があり、指定管理者から、利用者同士は対角線上に座っていただくようにしていること、レクリエーションは、塗り絵や計算など個別にできるものを行っていること、職員については、フェイスガード・マスクをした上で、ボディタッチをしないことや、正面からではなく横からの話しかけを実施しているとの回答がありました。また、利用者からカラオケ実施の希望があるが、感染防止の観点からまだ再開には至っておらず、ご理解をお願いしているとの報告がありました。

そのほか、合議メンバーから、新たなアンケート項目が増えた理由について質問があり、指定管理者からは、コロナ禍等を踏まえて、必要と思われるアンケートを追加したとの回答がありました。

2) 総評

感染対策をしっかりと実施しながら、状況に応じて、可能なプログラムを工夫して実施し、人員配置等も改善しており、今後も継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。